

瑞穂野地域学校園

(瑞穂野中学校、瑞穂野北小学校、瑞穂野南小学校、瑞穂台小学校)



学校園マスコット
「ミドリーム」

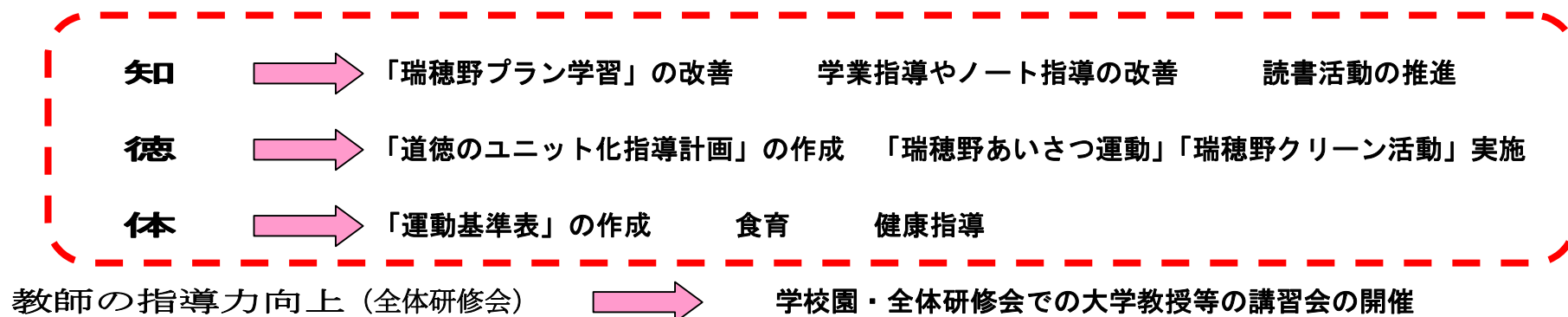
1 研究テーマ

9年間の連続した学びの中で「生きる力」を育てる小中一貫教育
～瑞穂野地域 学力向上プロジェクト～

2 研究内容

<本地域学校園の目的>

「児童生徒の学力向上」のため、学校園内の4小中学校がそれぞれ拠点校となり、分野ごとの研究を進める。



<分科会での研究内容>

- 「瑞穂野プラン」(国語)(算数・数学)、「習得基準表」の改訂と活用【学習力分科会】
- 全生徒の基礎学力習得を目指した「スタンダードテスト(漢字・計算)」の実施【中学校のみ】
- 道徳の「総合的ユニット化指導計画作成」【心の教育分科会】
- 地域学校園必読図書(しおりとポップの作成等)【図書館教育分科会】
- 相互貸借のシステム化 地域学校園図書だより「穂のぼの(年間2回)」の発行【図書館教育分科会】
- 「補助運動、水泳検定表」の活用 小学校間の縄跳び検定表の統一 ミニマム達成状況の把握【体育分科会】
- むし歯が心身に及ぼす影響への指導 衛生面や感染症への意識の高揚【保健分科会】
- 学校園食育だよりの発行 みずほの献立の実施(児童生徒が考案した地域の特産品活用献立) お弁当の日同一日実施【食育分科会】
- 学校園内小学5年生と中学校1年生が実施する冒険教育活動、ホテル飼育と地域交流活動、相互乗り入れ授業【児童生徒連携交流分科会】
- 「瑞穂野あいさつ運動」「瑞穂野クリーン活動」の実施【地域連携交流分科会】
- 児童・生徒の情報共有と望ましい指導法の検討【児童生徒指導・教育相談分科会】
- 配慮を要する児童・生徒に関する情報交換 個別の指導計画の作成と次年度への引継ぎ等の確認【特別支援分科会】
- 活動地域学校園内における学校間の事務に関する連携と相互支援【事務部会】

<成果◎と課題■>

- ◎ 指導内容の見直しにより、教科の年間指導計画に合致したワークシート「瑞穂野プラン」(国語)の作成ができた。
- ◎ 小学校で漢字の止め跳ねなどの細かい指導を、中学校との共通理解の下にできるようになり、教員間の指導の差が減少した。
- ◎ 算数では計算の過程を大切にすることに児童に伝え、計算式についてもきちんと書かせることができた。
- ◎ 「瑞穂野プラン」の改善では、指導内容の精選を図り、ワークシートをより使いやすいものにした。
- ◎ 「習得基準表」は、小学校の各学年の学習が積み重なり、元となって、中学校の学習があることを意識できた。
- ◎ 中学校で実施しているスタンダードテストでは、小学校の学習内容の見直しができ、基礎・基本の確認と習得につながった。
- ◎ 「総合的ユニット化指導計画」の作成手順の確認と実践化が図れた。
- ◎ 「水泳検定表」の活用により小学校間で同一步調の指導ができた。また全体的な傾向や次年度の課題が把握しやすくなった。
- ◎ 全体研修会で学校園内全教職員が一堂に会し、作新学院大学 松本秀彦先生と市教育センター 戸崎克美先生を講師としてお招きし、障がいを持つ児童生徒の理解と望ましい指導の在り方に関する研修会を開催し、指導力の向上を図った。
- 中学校で実施しているスタンダードテストでは、実施する時間とその後の再テストの時間確保が難しい。
- 学年・学級担任による実施状況の差が出てしまうこと、カリキュラムの中での位置づけが課題である。ワークシートの朝学等への位置づけと「チャレンジ漢字検定表」での学習意欲の喚起を図る方策を再考する必要がある。
- 「習得基準表」では更に、一人一人の児童生徒の達成状況がわかるように、学年を超えた追跡ができるとうい。
- 道徳の「総合的ユニット化」を実践する際、事後の活動が道徳の授業と時期が離れてしまうことがあるのが、課題である。
- 「運動基準表」では中学校で活用しやすい引き継ぎ方を検討する必要がある。補助運動の継続については、誰にでも取り組める簡単な運動なので、手軽にできた。効果を期待するまでには、今後も取り組む必要がある。新体力テストやミニマムの達成状況をふまえて、新しい運動を提案していく。



瑞穂野あいさつ運動



ホテルのタベ



全体研修会



みずほの献立